

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 10.7 p	10.5 p ↗
不動産流通業(住宅地)	△ 40.0 p	△ 3.9 p ↘
ビル賃貸業	2.1 p	△ 8.4 p ↘

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 25.0 p	25.0 p ↗
不動産流通業(住宅地)	△ 31.8 p	33.9 p ↗
ビル賃貸業	△ 32.0 p	18.0 p ↗

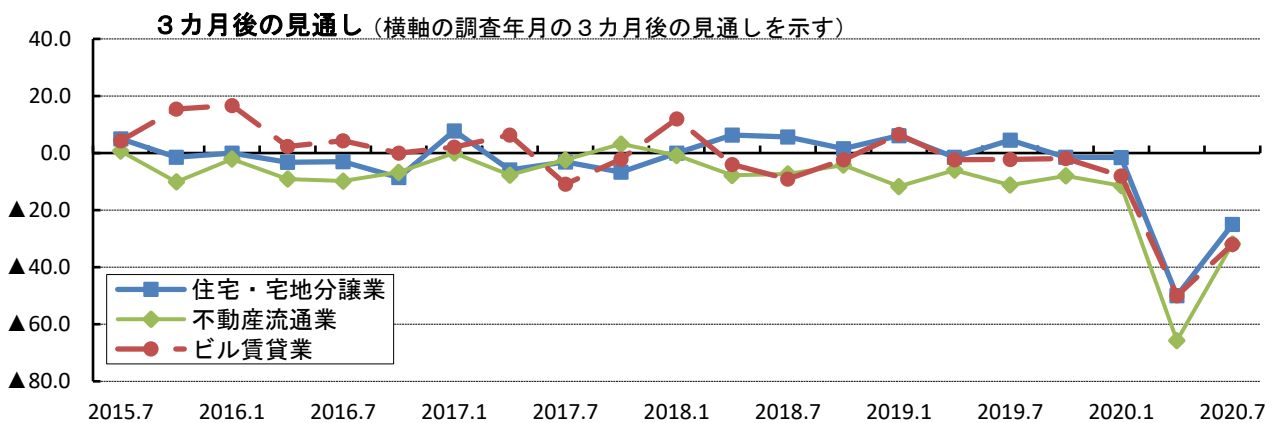
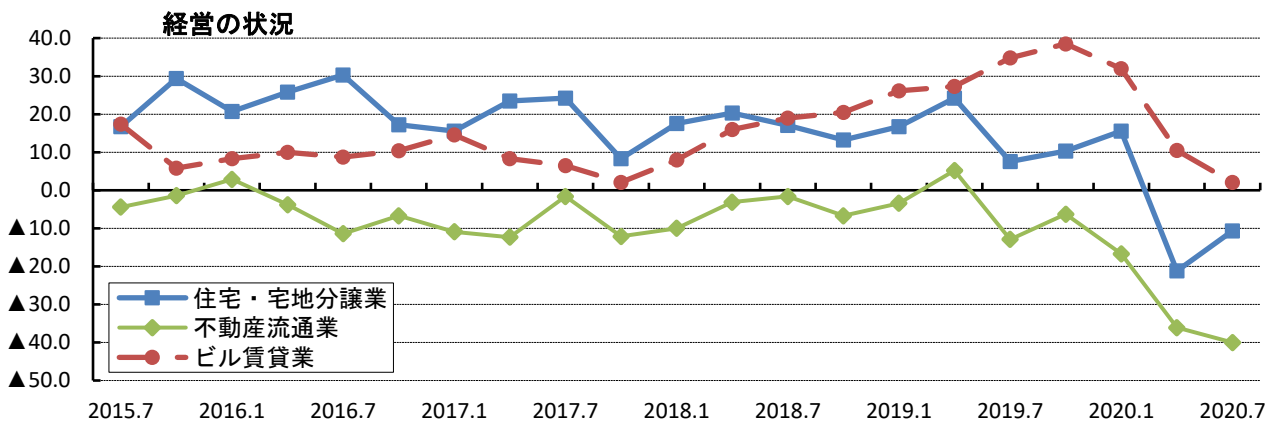
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 10.5p 改善し ▲10.7p。2期連続のマイナス水準。
 不動産流通業は前回から 3.9p 悪化し ▲40.0p。5期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から 8.4p 悪化し 2.1p。25期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業およびビル賃貸業でいずれも改善。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = { (「良い」×2 + 「やや良い」) - (「悪い」×2 + 「やや悪い」) } ÷ 2 ÷ 回答数 × 100

*3 3ヶ月後の見通し = { (「良くなる」×2 + 「やや良くなる」) - (「悪くなる」×2 + 「やや悪くなる」) } ÷ 2 ÷ 回答数 × 100
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第94号「不動産業業況等調査」